

様式第2号（第10条関係）

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

平成27年度第2回弥生地域振興審議会

2 開催日時

平成28年3月10日（木） 19時00分から21時00分まで

3 開催場所

弥生振興局 2階 第2会議室（佐伯市弥生大字上小倉656番地1）

4 出席者

会長：西條隆洋 副会長：矢部加奈

委員：甲斐隆二・久寿米木重生・染矢庄治・高司武・高司祐子・山内愛子

矢野輝人・山口美恵子

（委員10名中10名出席）

（市職員）

弥生振興局長：丸山初彦 秘書政策課長：武田晴美

地域振興係：河野国広（課長補佐） 岩崎悟己（総括主幹）

前田賀庸（事務局）

市民サービス係：高司昌彦（総括主幹）

（計6名）

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題

1. 佐伯市まち・ひと・しごと創生の進捗状況の報告について

2. 佐伯市活性化チャレンジ事業について

8 審議の内容

佐伯市まち・ひと・しごと創生の進捗状況について、秘書政策課より報告を

行い、質疑応答を行った。

○「佐伯市まち・ひと・しごと創生」の進捗状況について

まず、秘書政策課長より「まち・ひと・しごと創生」の進捗状況について説明を行い、委員より意見を求めた。

※以下は、会議の抄録であり、実際の発言と言い回しが異なる部分がありますので、ご了承下さい。

【会長】 それでは、先ほど秘書政策課の武田課長より「佐伯市まち・ひと・しごと創生」の進捗状況についての説明がありましたが、委員の方から、何か意見等がありますでしょうか。

【委員】 基本目標の1番始めに、「仕事を育て、仕事を創る」ということを持ってきていただいているのは非常に良いと思います。学校を卒業して若者が働く場がなくて都会に流れていく、優秀な人材が外に出ていくというのは以前から残念だ感じていました。仕事に就き、生活の基盤を確立しないことには、子供を産んで増やそうという気にはなかなかならない。働く場所の確保という政策に積極的に取り組んでください。

【委員】 基本目標2に「佐伯市への人の流れを促す」とありますが、延岡や日向の知人に話を聞くと、高速が開通しても買い物では佐伯に降りずに大分まで行くそうです。ただ、佐伯で降りるのは、堅田の公園に遊びに来る人が多いと聞くので、家族連れで遊びに来れる施設を大きく作ってはどうか。また、公園周辺にお土産を買ったり、お昼を食べる場所も必要だと思います。せっかく来てもらっても、そのまま遊んで帰るのでは勿体ないと感じます。

【委員】 出産や子育てに関してですが、もっと子供を産みたい、子育てに従事したいと考えている母親も多いと思います。そうした時に、仕事を持つ母親に必要なことは、企業の理解を得るということではないでしょうか。出産や育児で仕事を休むということは、会社に迷惑がかかるし、仕事を辞めさせられるのではないかと考えてしまいます。子供を産み育てるということは、人口増加に貢献するということですので、出産や子育てなどで休まなければいけないことについて、行政から会社への理解を求めるような施策を考えてほしい

と思います。

【委員】以前にもお話しさせてもらいましたが、病児保育で預かってもらえる体制がそれぞれの地域でできると、親は安心して仕事ができると思います。

【委員】今日も子育てや雇用など色々な分野から話がありました。まち・ひと・しごとの施策でも色々な分野に分かれていますので、それぞれ現在関わっている人たちや保護者、専門的な方たちを集めて作成するのが良いのかなと思います。

【丸山局長】さきほど武田課長からお話しがあったように、この計画は1年ごとに見直していくということになっています。佐伯市オリジナルの計画を立ててそれを実現していけるように、今後も皆さんと協力しながら行っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【武田課長】本日は貴重なご意見をありがとうございました。今後も皆さんのお知恵を借りながら、また一緒になってより良い佐伯市を創っていききたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【会長】それでは「佐伯市まち・ひと・しごと創生」の進捗状況について、秘書政策課の武田課長よりお話しをしていただきました。今回の審議会で出た意見を検討、参考にしてもらいたいと思います。本日はおつかれさまでした。

【委員一同】おつかれさまでした。

9 会議の資料名一覧

平成27年度第2回弥生地域振興審議会議案書

1. 佐伯市まち・ひと・しごと創生の進捗状況の報告について
2. 佐伯市活性化チャレンジ事業について

10 問い合わせ先

担当課 佐伯市弥生振興局 地域振興課
地域振興係（担当：前田）
電話番号 46-1111（内線 36）